

学びのデザインシート

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【公民／公共】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）

普通科2年文系クラスである。日頃から明るく活発な生徒が多く、授業内でも積極的に問題に取り組んだり、ペアワークで意見を交換したりしている。他者の意見を尊重することができるため、皆が意見を言いやすい雰囲気が授業内では作られている。本時で学習する市場メカニズムについて、考える資料を与えながら、さらに深く学んでいけるように、働きかけをしていきたい。

2. 単元名

「現代の経済社会」（全12時間）

3. 単元の目標

知識及び技能	財政及び租税の役割、市場経済の機能と限界、金融の働き、企業の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解できる。
思考力，判断力，表現力等	経済の基本原理や理論を基に法、政治を関連させ、経済社会を構成する一員として今後の日本経済・世界経済において解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して多面的・多角的に考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。
学びに向かう力，人間性等	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間として、経済活動を担う一員としての在り方について自覚などを深めることができる。

4. 本時の目標

身近な商品の価格変動を基に、市場、需要・供給の法則について考察したことを表現することができる。

5. 授業展開

解決したい課題や問い
価格の変動はなぜ起きるのか？ 価格はどのように決まっているのだろうか？

考えるための材料 A	考えるための材料 B	考えるための材料 C
材料① ポケモンカード転売時の価格の変化と2024年米米価格の上昇	材料② 需要曲線・供給曲線のグラフ	材料③ 価格決定のグラフ
想定される活動	想定される活動	想定される活動
欲しい人がいるから価格が上がる、米が不作だったから価格が上がるといった需要と供給によって価格が変動していることを確認する（思い出す）。	需要曲線・供給曲線がどんな特徴を持ったグラフなのか、また需要曲線・供給曲線がどのような要因で移動するのか理解する。	価格に応じて品不足になってしまう場合や品余りになってしまう場合がある中で、需要量と供給量が一致する価格があることに気づく。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

材料①についてグループワーク【4分】

○ポケモンカード

「ポケモンカードって今めっちゃめちゃ人気だから欲しくても手に入らない状態だよな。」

「購入制限されているのもコンビニで見るよ。」「値段が高くて欲しい人がいるってことだよな。」

○2024 夏 米価格上昇

「令和の米騒動って言われてるよね。」「飲食店でも米価格上昇にもなって高くなったよね。」

「米の収穫量が減ったのかな?」「災害に備えて各家庭が買いだめも行ってたね。」

材料②についてグループワーク【25分】

○需要曲線

「お小遣いも月 3000 円だから安く買いたいよね。」「需要が増える時ってどんな時だろう?」

「お小遣いが増えたら買えるようになるよね。」「テレビで紹介されたら需要増えてるよね。」

○供給曲線

「できるだけ利潤を上げたいから高値で売りたいよね。」「買ってくれる人がいなかったら意味ないよ。」「材料費が安くなったら同じ値段でもたくさん作ることができるよね。」

「農作物・水産物などは日や年によって収穫量変化するよね。」

材料③についてのグループワーク【5分】

「需要側は安く買いたい、供給側は高く売りたいだと真逆の考え方だね。」

「値段が高いと余り、安いと足らなくなるよね。」「お互いの妥協点があるのかな。」

「需要曲線と供給曲線の交点は需要量と供給量が一致しているよ。」

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

「コロナによる緊急事態宣言で飲食店が休業したことにより需要が減り、供給量がそのままだと価格が下がり、利益が出なくなってしまう。販売数は減ってしまうが、農産物を廃棄することで価格の下落を抑え、利潤を獲得できるようにするため。」

「需要側によって価格が変動することもあれば、供給側によって価格が変動することがあるのが分かった。」

「これからは価格変動の背景にある要因を意識したい。」

「社会情勢を見ておけば今後の価格変動を予想できるかもしれない。」